

第 56 号

発行

足利市大前町268-1

足利工業大学後援会

ご挨拶



足利工業大学後援会 会長

萩原 雄司

足利工業大学後援会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。入学したての皆さんに二点お願いがあります。

一つ目として、大学は専門知識だけを得るところではなく、卒業後の社会人生活を有意義なものとするために必要な「社会性」を身につける場所でもあると思います。

「社会性」とはなにか、一言での定義が難しいところですが、「健全な人間関係の構築および維持」ととらえてほしいと思います。どんな仕事でも人と人が関わるケースが非常に多いということです。

二つ目としては、「地域貢献」です。足利工大も、地域の皆様に愛され支えられ存続してゆけるものです。今後入学する後輩の人たち

のためにも長く愛される大学でいるためには、皆さんがこの地域を愛し、どんな方法でも良いですから、地域貢献してゆくことが大事です。

遠方より、この足利の地に来られた方は、第二の故郷になるわけですから、ぜひお願いしたいと思います。

さて、後援会の目的は、学生達の学生生活を守るための援助、及び、施設・設備の充実、改善に向け協力する事です。

この目的達成に向け、年間約六回の理事会を行っております。

具体的な支援としては、クラブ活動、自治会活動、大学祭などの援助、各種資格試験などの支援や、一〇〇円朝食サービスなどを行っております。

中でも会員の皆様にもぜひ足を運んでいただきたいイベントとしては、まず、年度の変わり目に

実施する後援会総会です。事業報告、決算報告などを会員の皆様に審議いただきております。ここでの承認を受け具体的に新年度の活動に入っております。

教育相談会では、先生、学生、保護者の三者にて学校や授業に関する情報共有ができ、とても有意義な機会になると思います。

そして、学生主体で開催される大学祭「わたらせ祭」があり、ここでは素顔の学生に会うことができます。日頃の研究発表やクラブの活動発表、様々な催し物が開催されます。

後援会としてもブースを借りて野菜等の販売にて盛り上げに一役買っております。

これらの事業にはぜひとも会員の皆様には参加・見学いただき、意見や感想を後援会までお寄せください。それが後援会や大学の活性化につながるものと考えられます。

より良い後援会作りに向け引き続きの協力をお願い致します。



平成25年度新役員



大学現況報告



退会役員感謝状贈呈

- 《後援会退会役員》
- 会長：前原 剛 様
 - 副会長：池澤 佳代 様
 - 理事：松浦里江子 様
 - 理事：前原 牧子 様
 - 理事：今井 幸子 様
 - 理事：橋本 彰子 様

長期にわたり、後援会に御尽力を頂きました。心より感謝いたします。誠にありがとうございました。

国際化時代の魅力ある大学に



足利工業大学学長
牛山 泉

後援会の皆様には、日頃から物心両面のご支援をいただきありがとうございます。心からなる感謝と御礼を申し上げます。本学は創立以来四十六年目を迎えました。これまで二万人を超える卒業生を輩出してあります。さらに、社会の要請にこたえて魅力ある大学とすべく、学科の再編に取り組み三年目を迎えました。これに加えて、来年度からは創生工学科に看護学科を併設するため準備中であり、これにより本学の存在意義をより確かなものにしてまいります。と願っております。

さて、近年の世界的なグローバル化の波は本学においても顕著に現れており、本年度に新たに加わった三〇名を超える外国人留学生を合わせて、全学で十二ヶ国約一三〇名もの留学生が学んでおります。これに関連して大変嬉しいことに、

修生も大きな成果を得て帰国しましたし、中には本学で学位を取得したいと願っている研修生もおります。本来、大学はそれぞれの役割に応じて、有能な人材を社会に送り出す使命があります。本学は、常に建学の理念を念頭に置いて和の精神に基づいた「人間力豊かな心あるエンジニア」の育成に努めなければならぬと決意を新たにしております。どんな学生諸君にも、そ

”快適な学園生活“の実現に向けて



足利工業大学副学長
蟹江 好弘

本学は昭和四十二年に開学して以来四十六年を経過し、二万人を超えるエンジニアを社会へ送り出して来ました。この間後援会からは経済面はもとより、大学運営のさまざまな面におきまして多大なご援助をいただき感謝しております。大学が大過なく過ごしてこれたのも後援会のおかげだと深く感謝しております。

このような文章を書く度に必ず触れることがあります。それは大学に学ぶ期間は人生の中でもとりわけ貴重な四年間だということです。大学以前の学校における時間も、それぞれ異なった意味において重要なのですが、大学在学中の十八歳から二十二歳の四年間は、少年少

れぞれ固有の力が備わっておりますので、本学の特徴である少人数教育による人格的ふれあいを通じて、学生諸君の潜在能力を最大限引き出すべく努めております。これにより「人間力豊かな心あるエンジニア」の育成が可能となります。学生諸君が、「足利工大に入ってよかった！」と言っていただけけるように、従来に増して、きめ細かい教育指導や生活指導を行なって参りたいと思っております。

このような若者達の心の中に存在する楽しいこと、苦しいことはなかなか外部からは見えません。親・兄弟・姉妹、そして私共教員でも見落としてしまうことがあります。しかし心の許せる友達には本音で話を聞いてもらえることが多いらしく、同級生や部活の仲間の話を聞いている内に本音がわかったという経験も少なく無いのです。こうした面において大学での生涯の友達づくりは大切です。

大学では教育システムに従い、講義・実験・演習などを通じて、所定の教養、専門教育を行います。教育方針は少人数に対して、わかりやすく、理解できるまで教えます。このことは科目担当教員の努力に加え、

学生食堂の一階に設けた学習支援室において高等学校教員の経験を持つ指導者とTAなどを配し、学生の要望に応えています。

大学において重要なことは、学習のほかに一日の大半を過ごす学園生活があります。学生達が快適な学園生活を送れるように、健康、食事、通学、交友関係、クラブ活動等に配慮し、指導を行っております。

学生の主体性が低下したという意見が多い中で、最近嬉しく思うことは、東日本大震災被災地支援のボランティア参加、留学生による社会教育としての語学研修講座などです。

後援会におかれましては、今年度も様々なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新たな教育システムの構築に向けて



教務委員長
末武 義崇

平成二十三年四月に一学科五学系の新しい教育システムがスタートして、今年で三年目になります。現在、本学は、来年度に迫った新カリキュラムの完成年度を見据えつつ、さらに新しい時代に繋がるような教育システムの構築へ向けて、鋭意努力しているところです。こうした取り組みの中で、今回ご報告させていただくカリキュラム上のトピックは、大きく五つの項目か

ら成っております。一つ目は、三年生を対象としたキャリア科目、「自己表現I・II」の開講です。講師として、長年本学のキャリアカウンセラーを勤めてこられた榎本達彦先生を選任し、本学常勤教員による個別作文指導も織り交ぜながら、授業が進められております。

次に、「課題研究」の開講ですが、この科目も三年生を対象とした専門のゼミ科

目です。三年生対象のゼミ科目は、従来から各学科で開講されており、内容的に大きな変化はありません。ただし、創生工学科一学科となったことにより、他学系のゼミへの配属が容易になった点に「課題研究」の特徴があります。

続いて、フレッシュユマニキャンポおよびフレッシュユマニゼミの見直しです。今年度は、フレッシュユマニゼミが終わった後の友人関係や学生と教員とのコミュニケーションに配慮し、学系ごとにグループ編成を行うことでフレッシュユマニキャンポを継続することが、六月の教授会で了承されました。

新カリキュラムの完成年度以降、すなわち、平成二十七年以降の教育システム改革に繋がる目玉の一つと考えられるのが、四番目の学業優秀者対策です。今年度の数学プレースメントテストの結果によると、入学者の約一割が九割超の高得点を得ており、学業優秀者は増加傾向にあります。こうした状況に配慮すれば、優秀な学生のモチベーションを維持していくための新たな教育システムの構築が、今後の課題の一つとなるこ

学生生活におけるリスクと対応



学生指導委員長
伊東 一臣

新入会員を迎えて日頃より学生委員会の活動にご理解と多大なご援助をいただきありがとうございます。学生指導委員会は学生の健康、クラブ活動、特待生の選考、表彰と懲罰、教育相談会等を行い、事務局である学務課と共に学生たちが健全な学生生活を送れるよう活動している委員会です。

さて、大学生生活の四年間は少年より青年となる人生で重要な期間であり、大学生活がその人の人生観の基本となると言われています。しかし成長期であるために身体的にも精神的にも不安定な時期でもあり、多くのリスクをかかえる時期でもあり、多くの大学の共通問題として文科省でも重要

◆平成25年度 教育相談会について◆

足利工業大学では毎年夏期休業期間を利用して、保護者の方に学生の実情を知っていただくことを目的とした教育相談会を開催しております。この企画は、本学の教職員が、学生たちの勉学状況や成績等をご報告すると共に、ご要望・ご質問等のご相談に個別に応じるというものです。

ご多忙中とは存じますが、是非ご参加ください。また、できればご息子ご息女をご同伴くだされば、より一層の教育的効果があるかと思えます。

なお、教育相談会にご参加の際には、8月27日本学発送の保護者様宛、成績通知書をご持参くださいますようお願いいたします。

教育相談会

平成25年9月15日(日)

会場：足利工業大学 学生ホール2階

受付時間 9:00~13:30

出席を希望される方は、7月末発送予定の「教育相談会開催のご案内」に同封の葉書をご返信ください。クールビズを実施しておりますので、軽装にてご参加ください。



〈9月15日(日)「スクールバス時刻表」〉

大学発 足利市駅 行		東武足利市駅発 大 学 行	JR山前駅発 大 学 行
	7		
50	8		
45	9	10	20
55	10	05	18
	11	15	25
25	12	42	56
10	13		
00	14	17	27
20	15		

※大学発はJR山前駅経由足利市駅行



◆足利工業大学 一般表彰◆

[個人表彰]

●大学院 機械工学専攻 丸山辰也君

日本金属学会2012年秋期講演大会ポスターセッションにおいて、「優秀ポスター賞」を受賞されました。

●大学院 都市環境工学専攻 古谷津和希君

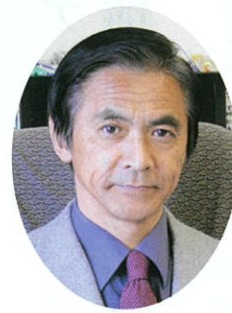
大学コンソーシアムとちぎ主催・第9回学生&企業研究発表会において、「金賞」を受賞されました。



丸山君は平成24年12月21日、古谷津君は平成25年2月13日に本学にとって大変名誉なこととされ、学長から表彰されました。おめでとうございます。

視し、全国の大学の関係者を集め、事例報告及び対処例等について討議しました。リスクとしては、うつ病等の精神的問題や熱狂的宗教、ねずみ講等のカルト、一気飲み等による飲酒、肥満等の健康の問題及び交通事故があげられます。精神的問題は全国的に増加傾向にあり、本学においても同様な傾向であり新生にUPIテストを行い、カウンセラーとの面談を行っている。傾向は高学年になると卒業及び就職の問題で悩む学生が多く、カウンセラーとの面談数が急激に増加しています。また精神的問題に対する抵抗感が障害となつていますが、自発的にカウンセリングを受ける学生は徐々に治るといふ報告があり、早期治療が重要です。また各クラブ等に入り、自分の気持ちや話せる親しい友人を持つことが大切です。最近家庭内の問題で悩む学生が増加していますので、保護者の方々にはご息子が勉学に励めるような環境をお願いいたします。

家庭内における宗教上の問題で学生が悩むケースも発生しております。飲酒においてはコンパ等において一気飲み及び無理に酒を進めること等は禁止しておりますが、やはり飲みすぎによる急性アルコール中毒が数件起きておりまして、自分の許容量を知って自制することが大事です。健康上の問題は朝食を食べない学生や昼食をパン一個で過ごす学生が多数見られ、就職のための健康診断で再検査の学生が多数見られます。また肥満による骨折、健康障害及び昔では考えられな脳梗塞等が見られます。交通事故はバイクと右折車との衝突や卒業旅行中の死亡事故等が過去に起きています。新生には交通安全講話を開き注意を呼びかけていますが、時間的に余裕をもって行動するように保護者の方々からお願いいたします。



就職指導委員長 和田昇三

本学の就職支援

就職戦線の厳しさが新聞紙上で話題になっていきます。先日、その一コマを「病弊する学生たち」という見出しの記事の中に見つけました。就職情報サイトに登録して有名大手企業ばかりを約五〇社受けても内定をもらえない学生の話です。「人は生は終わった」と思い、家にもつてしまいましたが、「自分のやりたいことは何か」という本質を見失っていたことに気づき、新しい気持ちで就職活動を再開するまでが記されています。ここ数年大学生に対する求人倍率(求人数/求職者数)はリーマンショックの年(二〇〇八年)が二・一四でしたが、それ以降現在まで一・二〜一・三と低い値で推移しています。このような中、マイナビやリクナビに登録し有名企業にチャレンジしても、数千人越える受験者の中から選ばれることの方が不思議に思えるほどです。

就職環境が改善されない中、文科省の指導のもと平成二十三年度より、全国の大学は職業指導科目を授業に取り入れるようになりまして、一年次から順次「文章表現ⅠⅡⅢ」、「自己表現ⅠⅡ」を設置し、三年次の段階で就業力が育つようカリキュラムを組んでいます。特に三年次後期の「自己表現Ⅱ」では、「進路」についての相談、また、「SPI試験」、「面接試験」対策など指導教員がきめ細かな職業指導を行っています。そのほか全学的な就職支援として、毎年二月、三年生を対象に「学内企業セミナー」を開催しています。長い間本学の学生を採用している企業約三〇〇社の人事担当者を招待し、学生との面談の機会を設けています。この催しは本学就職支援の最大のイベントとなっております。これらの企業に毎年約五割の学生が就職しています。そのほか就職課が窓口となり本学への求人企業へ約三割の学生が入社しています。

これら就職支援は、本学の就職委員会で長年培ってきた方法であり、年々成果を上げています。したがって冒頭に紹介したような就職情報サイトを通しての受験を積極的に進めていきます。この点と指導教員のきめ細かな就職指導とが相まって、本学では就職活動で「病弊する学生」は相対的に少ないと思っております。最後に申し上げますが、近頃の大学生は就職して三年以内に三割の人が辞めてしまふと云われています。就職状況の厳しい中、残念ではありますが、どの様な仕事であっても精魂傾け仕事に向き合っていけば、努力を続けるうちに天与の職となるに違いありません。今の学生にはそのような職業観をもたせることが必要であり、それも本委員会に課せられて重要な使命であると考えています。



平成24年度 足利工業大学後援会収支決算書

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

収入の部

(単位 円)

科目	予算額(A)	決算額(B)	差異(B)-(A)	摘要
前年度繰越金	6,961,975	6,961,975	0	
会費	25,250,000	25,825,000	575,000	@25,000円
雑収入	70,000	96,950	26,950	学生災害傷害保険移動返還金
計	32,281,975	32,883,925	601,950	

支出の部

(単位 円)

科目	予算額(A)	決算額(B)	差異(B)-(A)	摘要
1 運営費	2,700,000	2,079,319	△ 620,681	
会議費	1,250,000	1,085,662	△ 164,338	後援会総会・理事会等諸費用
事務費	300,000	267,056	△ 32,944	事務費一般
印刷費	250,000	204,015	△ 45,985	後援会会報印刷代・封筒代
通信費	900,000	522,586	△ 377,414	後援会総会通知発送費・後援会会報発送費・「AIT通信」発送費
2 学生助成費	21,900,000	18,695,894	△ 3,204,106	
学生研究補助費	900,000	297,170	△ 602,830	卒業研究等補助
クラブ援助費	10,500,000	8,915,451	△ 1,584,549	クラブ活動援助費
学生活動費	6,300,000	5,670,303	△ 629,697	学生自治会援助金・大学祭援助・球技大会援助
入学・卒業記念費	2,500,000	2,445,520	△ 54,480	入学記念集合写真費・卒業記念アルバム作成費
海外研修費	500,000	240,000	△ 260,000	UIS短期留学参加学生(6名)への支援費
保険料	1,200,000	1,127,450	△ 72,550	学生災害傷害保険料
3 教育助成費	6,600,000	5,399,659	△ 1,200,341	
就職推進補助費	2,000,000	1,960,829	△ 39,171	保護者のための就職応援ブック350部・資格支援費 他
厚生事業費	700,000	453,280	△ 246,720	教員との懇談会費用
教育環境援助費	3,000,000	2,328,300	△ 671,700	ユニットハウス2棟・野外用ベンチ16台・テニス審判台4台 他
その他の厚生費	900,000	657,250	△ 242,750	朝食補助・情報処理技術者試験補助 他
4 慶弔費	700,000	334,000	△ 366,000	入学式献花代・学生香典 他
5 雑費	100,000	0	△ 100,000	
6 予備費	281,975	0	△ 281,975	
7 次年度繰越金	0	6,375,053	6,375,053	
計	32,281,975	32,883,925	601,950	

上記のとおり相違ありません。

平成25年3月31日

足利工業大学後援会 会計 影山光男

監査の結果、上記のとおり相違ありません。

平成25年5月25日

足利工業大学後援会 監事 中山 浩
監事 菊地 玲子

学 事 歴

8月 6日～	夏期休業(9/18まで)	11月 4日	授業日
10日～18日	エコ休業期間(完全休業・入構禁止)	12月12日	成道会(午後休講)
9月15日	教育相談会		定期学生総会
19日	全学ガイダンス	24日～	冬期休業(1/5まで)
	個別履修プログラム(9/25まで)	28日～1/5	エコ休業期間(完全休業・入構禁止)
	履修登録期間(9/26まで)	1月 6日	授業開始
20日	後期授業開始	15日	月曜日授業
10月11日	わたらせ祭準備(全日休講)	17日	全日休講
	わたらせ祭前夜祭	2月19日	学内企業セミナー
12日～14日	わたらせ祭(全日休講)	20日	学内企業セミナー
15日	わたらせ祭後片付け(全日休講)	3月19日	学位授与式

平成25年度 足利工業大学後援会役員名簿

	役職	氏名	所在市	学生所属学科・学系	学年
1	会長	萩原雄司	桐生市	電気電子工	4年
2	副会長	茂木岳幸	桐生市	システム情報工	4年
3	副会長	影山光男	佐野市	建築・社会基盤	3年
4	副会長	中山浩	太田市	機械・電気工	3年
5	会計	菊地玲子	足利市	情報システムデザイン	3年
6	監事	川崎浩司	さいたま市	自然エネルギー・環境	2年
7	監事	柿沼淑江	桐生市	建築・社会基盤	2年
8	理事	今井和男	太田市	機械工	4年
9	理事	三田康子	足利市	建築	4年
10	理事	野村馨子	下都賀郡	都市環境工	4年
11	理事	渡邊郁世	太田市	都市環境工	4年
12	理事	小沼久美子	足利市	自然エネルギー・環境	3年
13	理事	青木愛子	佐野市	生命システムデザイン	3年
14	理事	今泉文子	足利市	建築・社会基盤	3年
15	理事	大澤秀也	足利市	自然エネルギー・環境	2年
16	理事	片柳明	佐野市	機械・電気工	2年
17	理事	大関一雄	芳賀郡	建築・社会基盤	2年
18	理事	久力正通	長岡市	建築・社会基盤	2年
19	理事	石井文子	足利市	情報システムデザイン	1年
20	理事	大貫淳子	足利市	機械・電気工	1年
21	理事	仁木薫	足利市	機械・電気工	1年
22	理事	水原智華子	前橋市	機械・電気工	1年
23	理事	根岸麻奈美	足利市	建築・社会基盤	1年
24	顧問	前原剛	足利市		

平成25年度 足利工業大学後援会予算書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

収入の部

(単位 円)

科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	摘要
繰越金	6,375,053	6,961,975	△ 586,922	
会費	24,700,000	25,250,000	△ 550,000	@25,000円
雑収入	70,000	70,000	0	学生災害傷害保険移動返還金
計	31,145,053	32,281,975	△ 1,136,922	

支出の部

(単位 円)

科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	摘要
1 運営費	2,700,000	2,700,000	0	
会議費	1,250,000	1,250,000	0	後援会総会・理事会等諸費用
事務費	300,000	300,000	0	事務費一般
印刷費	250,000	250,000	0	後援会会報印刷代 他
通信費	900,000	900,000	0	後援会総会通知発送費・後援会会報発送費・「AIT通信」発送費 他
2 学生助成費	22,300,000	21,900,000	400,000	
学生研究補助費	900,000	900,000	0	卒業研究等補助
クラブ援助費	10,000,000	10,500,000	△ 500,000	クラブ活動援助費
学生活動費	6,200,000	6,300,000	△ 100,000	学生自治会援助金・大学祭援助・球技大会援助
入学・卒業記念費	2,600,000	2,500,000	100,000	入学記念集合写真費・卒業生記念アルバム作成費
海外研修費	1,500,000	500,000	1,000,000	学生海外研修補助
保険料	1,100,000	1,200,000	△ 100,000	学生災害傷害保険料
3 教育助成費	5,100,000	6,600,000	△ 1,500,000	
就職推進補助費	2,000,000	2,000,000	0	就職関連費用
厚生事業費	700,000	700,000	0	教員との懇談会費用
教育環境援助費	1,500,000	3,000,000	△ 1,500,000	学内環境設備費
その他の厚生費	900,000	900,000	0	朝食補助・情報処理技術者試験補助 他
4 慶弔費	700,000	700,000	0	入学式献花代・学生香典 他
5 雑費	100,000	100,000	0	
6 予備費	245,053	281,975	△ 36,922	
計	31,145,053	32,281,975	△ 1,136,922	

事務局便り

去る六月八日(土)に平成二十五年度後援会総会を開催いたしました。八十四組の会員の方にご出席いただきました。ありがとうございます。ご都合により、ご出席いただけなかった方や、また、疑問・質問やご要望などがおありの方は、後援会事務局の学務課(TEL〇二八四―六二―〇九五〇)及び会計課(TEL〇二八四―六二―〇八一〇)へご遠慮なくお問い合わせください。

また教育相談会が九月十五日に大学において開催されます。是非ご参加ください。

梅雨明けとともに訪れた猛暑そして残暑と厳しい気候が続いておりますが、大学では次の季節の行事「わたらせ祭」の準備にとりかかっています。

「わたらせ祭」は十月十二日から十四日の三日間開催いたします。後援会理事は地場産野菜やお菓子を販売するブースに参加します。大学事務局は復興の一助になればと、東北の物産品を販売する予定です。

金風に「わたらせ祭」のほり旗がなびいたら、どうぞ講内そぞろ歩いて日頃の学生の成果を見に、そして学生の販売するグルメに舌鼓を打ちにご来場ください。